PCW-1298(13090)

施工説明書

シャワートイレ PASSO

CW-EA14 型 , CW-EA13 型 , CW-EA12 型 , CW-EA11 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

施工手順

1. フルオート便器洗浄ユニットの取付け
   （フルオート便器洗浄ユニット付の場合）
   ↓
2. 分岐金具の取付け
   ↓
3. 本体着脱プレートの取付け
   ↓
4. シャワートイレ本体の取付け
   ↓
5. 当たり止めの貼付け
   ↓
6. 電源の接続
   ↓
7. リモコンの位置決め・取付け
   ↓
8. 試運転

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00(ゴールデンウィーク･夏期･年末年始の休みは除く)

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

- 施工説明書に従い、正しく施工する。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 分解や改造は絶対に行わない。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグを抜差ししない。
  ※ 感電の恐れがあります。
- 電源プラグの抜差しはプラグ本体を持って行う。
  ※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- ●AC100V 以外では使用しない。
  ●タコ足配線はしない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで十分差し込む。
  ※ 感電・火災の恐れがあります。
- 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
  ※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
  ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
  ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 水道水以外に接続しない。
  ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

⚠ 注意

- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
  ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
  ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
  ※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
  ※ 凍結破損により火災の原因になります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、定格消費電力（1300W）**に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **定格消費電力に適した配線を行ってください。**
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1200mm です。
  ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。

2. 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件
同梱の本体給水ホースは 950mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 以内が適切です。
※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-27C（1350mm）または CWA-28C（2000mm）を手配してください。

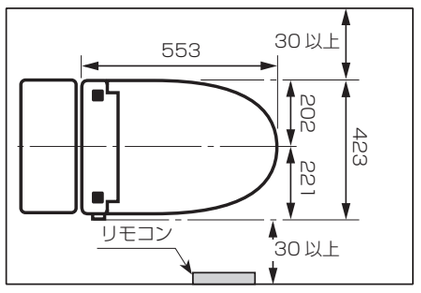
3. タンク給水ホース（別売品）の使用可能な条件
止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。
- 止水栓とロータンクの間の距離が **150mm ～ 300mm の場合**:
  タンク給水ホースが使用できます。
  8 ページ [補足2] をご覧ください。
- 止水栓とロータンクの間の距離が **150mm ～ 300mm 以外の場合**:
  タンク給水ホースが使用できません。
  ※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
  7 ページ [補足 1] をご覧ください。

使用する水は？

- **給水は必ず水道水に接続してください。**
  中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- **給水圧力は 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ～ 0.75MPa {7.5kgf/cm²} 必要です。**
  0.05MPa {0.5kgf/cm²} 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- **給水は便器の止水栓から取ってください。**
  フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

必要なスペースは？

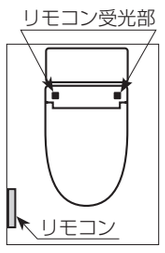
必要なトイレスペースは下図のとおりです。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。
製品に向かって右側・左側ともに 30mm 以上の空間を確保してください。30mm 未満ですとスライド着脱ができなくなります。また、動作の妨げになる場合があります。



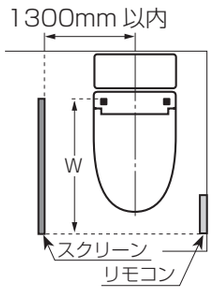
リモコンの取付位置は？

リモコンはできる限り、左側の壁に取り付けてください。

左側の壁にリモコンを取り付ける場合



右側の壁にリモコンを取り付ける場合

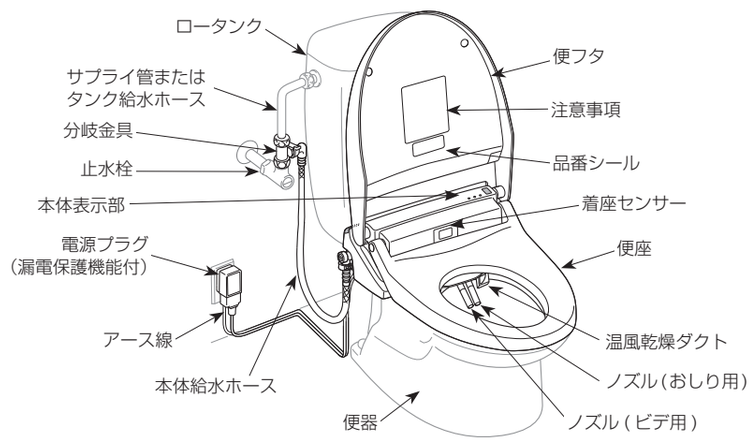


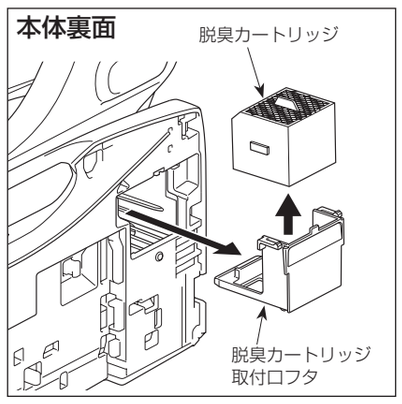
必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
また、左側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。
（ただし、壁の仕上げ・色（特に黒っぽい色）などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。）

準備工具

- モンキーレンチ（26mm 以上調節可のもの）またはスパナ類（23 ～ 26mm）
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター（サプライ管を切断する場合）

各部のなまえ

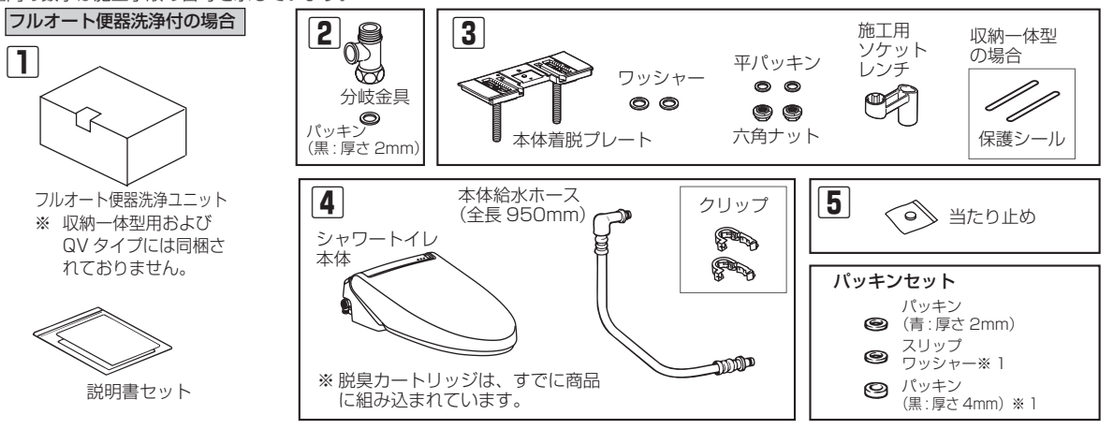




同梱部品の確認

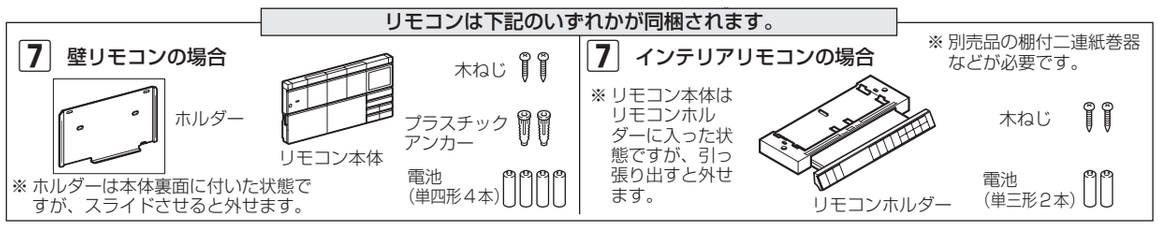
□内の数字は施工手順の番号を示しています。

フルオート便器洗浄付の場合



※ 1：既存のサプライ管を切断した場合に使用します。

リモコンは下記のいずれかが同梱されます。



別売品

止水栓付分岐栓 (CF-006)
※ 止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。
※ シャワートイレ側の給水を止水できます。

タンク給水ホース (全長 350mm)(CWA-24C)

パッキン (青：外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm)50-15(1P)

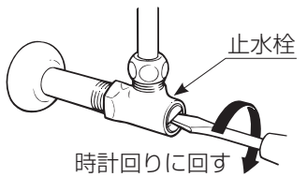
※ パッキン (青) とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け（フルオート便器洗浄ユニット付の場合）

1. **フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書に従って、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。**

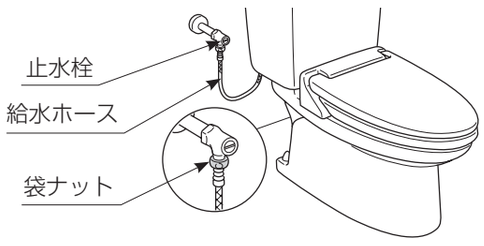
2 分岐金具の取付け【注意 2-1 参照】

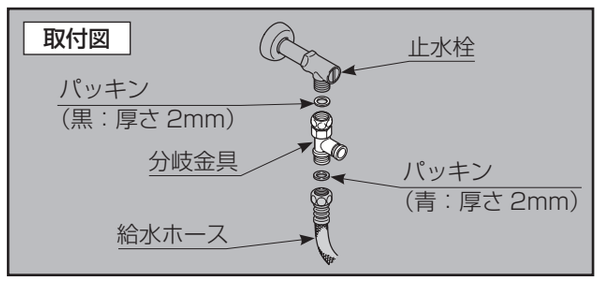
1. **止水栓を閉める。**
   便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっぱいに閉め、給水を止めます。
   ※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



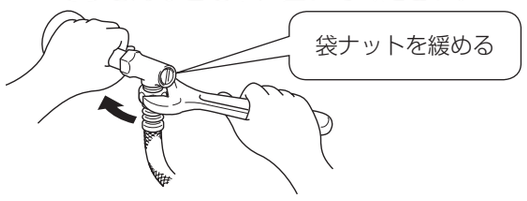
2. **給水を確認する。**
   止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。
   ※サプライ管を取り付ける場合は**【補足 1】**をご覧ください。

■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（袋ナット固定）

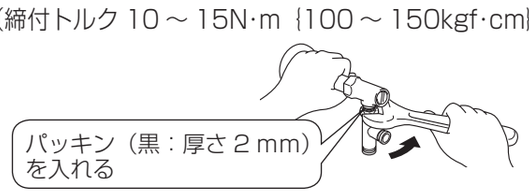




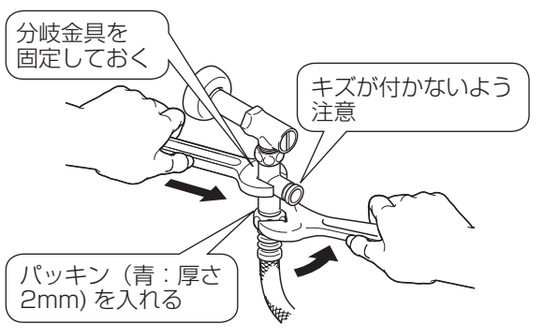
3. **給水ホースを取り外す。**
   ※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. **分岐金具を止水栓に取り付ける。**
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



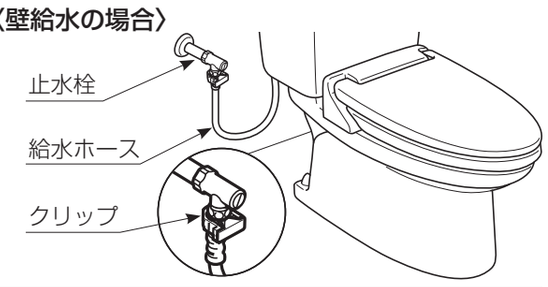
5. **給水ホースを取り付ける。**
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）
   ※給水ホースがねじれないように注意してください。



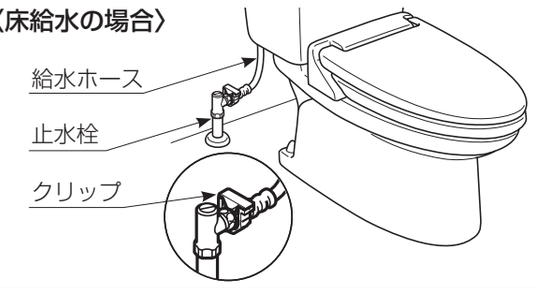
【注意 2-1】
- **止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用する。**
  ※漏水の原因になります。

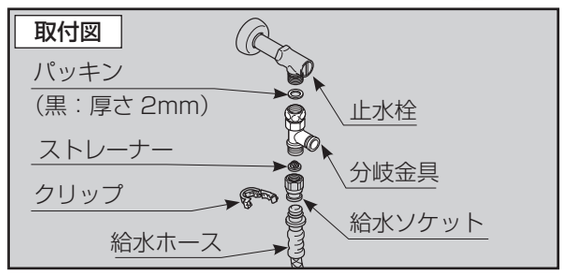
■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（クリップ固定）

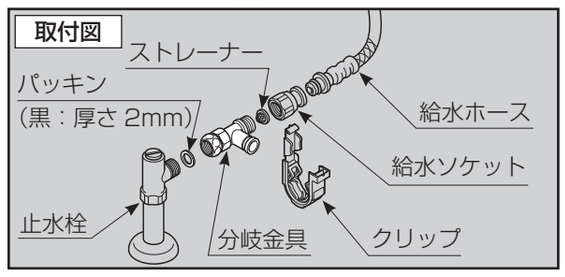
〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉

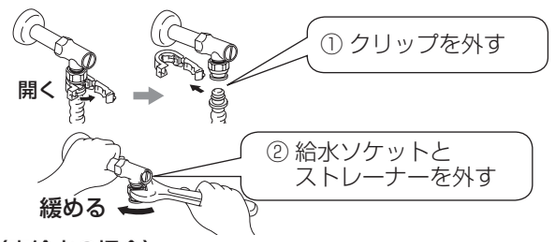




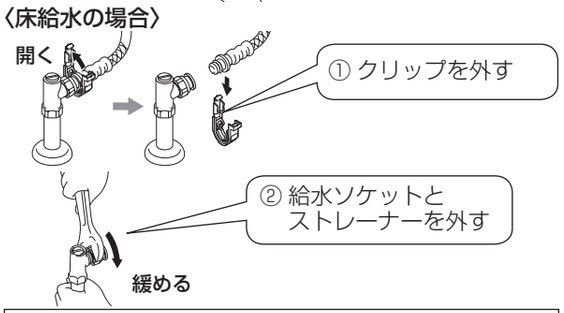


3. **給水ホースと給水ソケットを取り外す。**
   【参考 2-1 参照】
   ※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

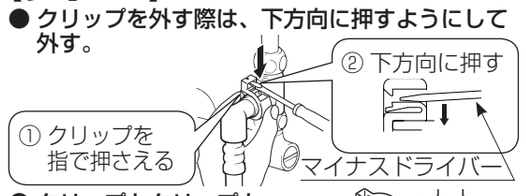
〈壁給水の場合〉



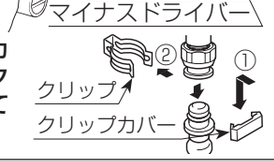
〈床給水の場合〉



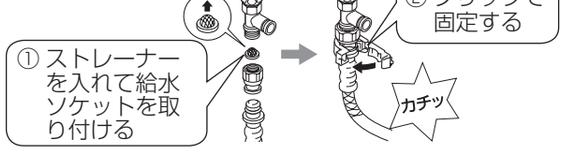
【参考 2-1】
- **クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。**



- **クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーを外してからクリップを外す。**



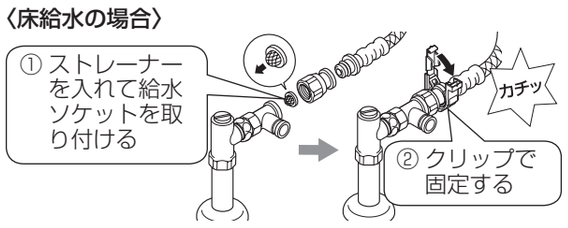
4. **分岐金具を止水栓に取り付ける。**
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



5. **給水ホースと給水ソケットを取り付ける。**
   【注意 2-2 参照】【注意 2-3 参照】
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

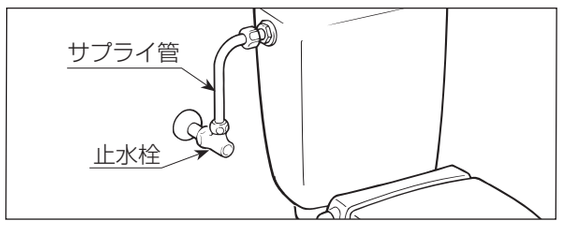
〈壁給水の場合〉

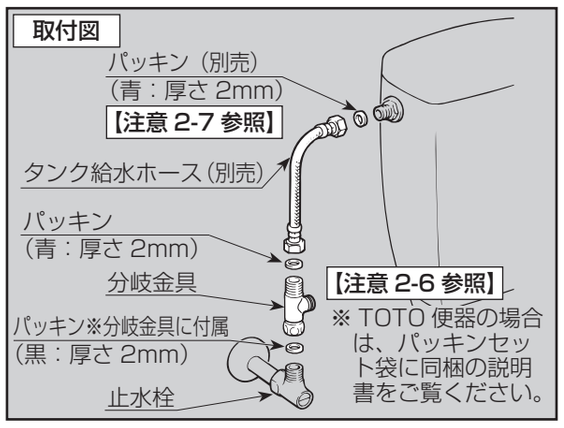
〈床給水の場合〉



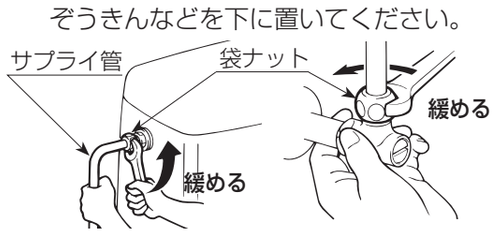
※取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■止水栓とロータンクがサプライ管で接続されている場合

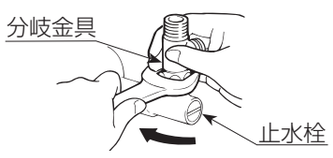




3. **サプライ管を外す。**
   【注意 2-4 参照】
   タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。
   ※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. **分岐金具を取り付ける。**
   パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



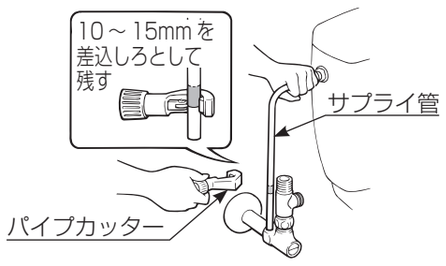
サプライ管を切断して取り付ける場合は、**【補足 1】**をご覧ください。

新たにタンク給水ホースを取り付ける場合は、**【補足 2】**をご覧ください。

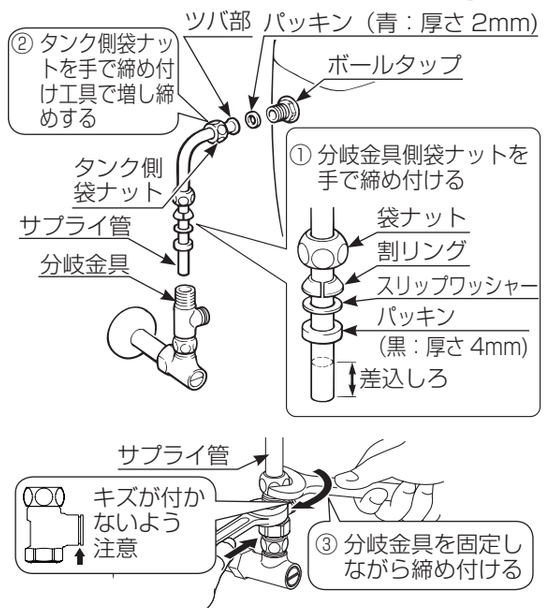
補足 1 サプライ管の取付け

【注意 2-4 参照】

1. **サプライ管（分岐金具側）を切断する。**
   【注意 2-5 参照】
   ※サプライ管の切断にはパイプカッターを使用してください。



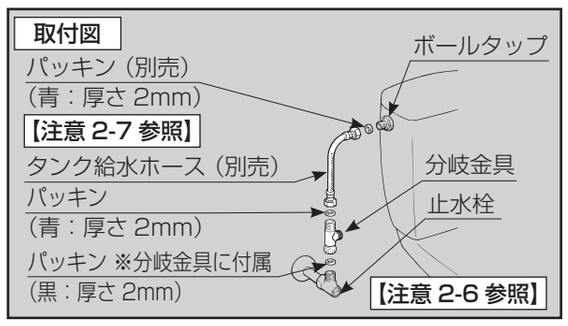
2. **サプライ管を取り付ける。**
   【注意 2-6 参照】【注意 2-7 参照】
   【注意 2-8 参照】
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



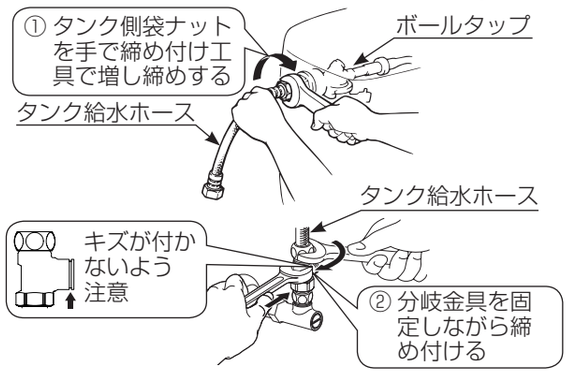
【注意 2-2】
- **O リングにキズを付けないように注意する。**
  ※O リングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

補足 2 タンク給水ホースの取付け

※【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。（☞ P.3）

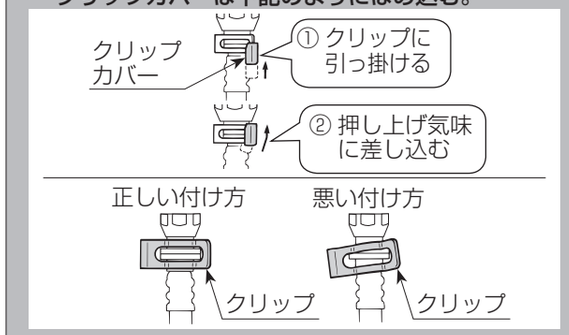


1. **タンク給水ホースを取り付ける。**
   【注意 2-7 参照】【注意 2-8 参照】【注意 2-9 参照】
   ※給水ホースがねじれないように注意してください。
   （締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



【注意 2-3】
- **クリップは確実にはめ込む。**

- **クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。**



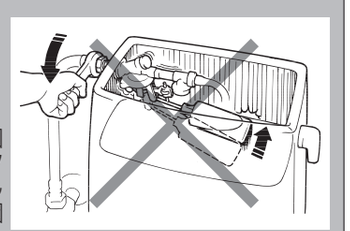
【注意 2-4】
- **止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。**
  ※破損して漏水する恐れがあります。

【注意 2-5】
- **サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。**
- **サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。**
- **止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。固定できない場合はタンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。**
  ※漏水の原因になります。

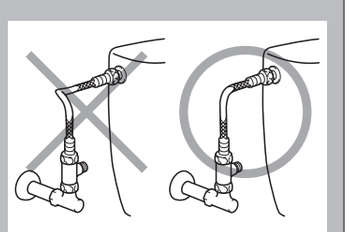
【注意 2-6】
- **各部品の向きと順序を間違えないようにする。**
  ※間違えると漏水します。
- **既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。**
  ※漏水の原因になります。
- **サプライ管の接続は確実に行う。**
  ※漏水の原因になります。

【注意 2-7】
- **当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキン（品番：26-10-2）に交換する。**
  このとき同梱のパッキン（青：厚さ 2mm）は取り付けない。

【注意 2-8】
- **ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。**
  ※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

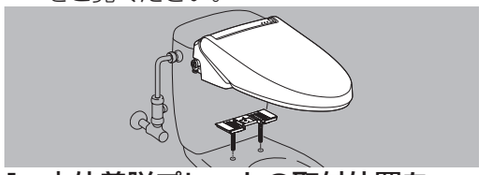


【注意 2-9】
- **タンク給水ホースは鋭角に曲げない。**
  ※破損して漏水の原因になります。
- **パッキンは必ず付属品を使う。**
  ※漏水の原因になります。



3 本体着脱プレートの取付け

既存の便座を取り外す場合は、**【補足 4】**をご覧ください。

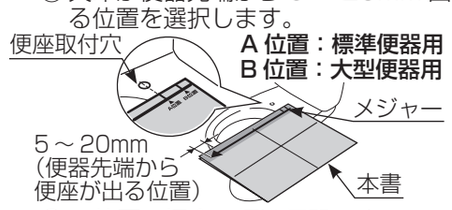


1. 本体着脱プレートの取付位置を確認する。

※ 本説明書端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの取付け位置を決定します。

① 便器が標準サイズの場合 **A 位置**を目安に、大型サイズの場合 **B 位置**を目安に便座取付穴に合わせます。

② 矢印が便器先端から 5 ～ 20mm 出る位置を選択します。



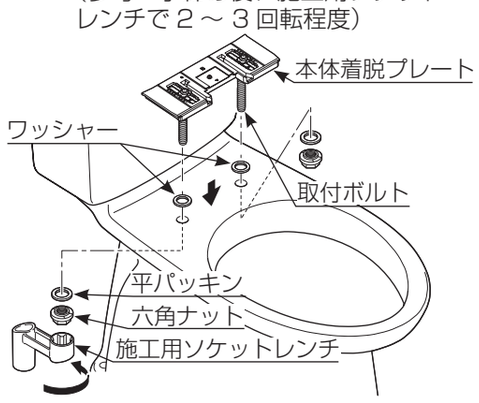
③ **A 位置の場合**：標準便器です。
【補足 3】の「標準便器用にボルト位置を変更する」をご覧ください。
B 位置の場合：大型便器です。
2 へすすみます。

2. 本体着脱プレートを固定する。【注意 3-1 参照】

① 便器の便座取付穴の上にワッシャー（2 個）を置きます。

② 取付ボルトを便座取付穴に差し込みます。

③ 取付ボルトに平パッキンを通して六角ナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。
(締付トルク 2.0 ～ 2.5N·m {20 ～ 25kgf·cm})
(参考：手締め後、施工用ソケットレンチで 2 ～ 3 回転程度)



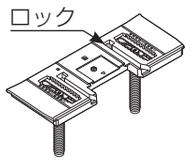
補足 3 標準便器用にボルト位置を変更する

①取付ボルト上の固定ねじ（2 本）を外し、固定プレート（2 個）を外します。

②取付ボルト（2 本）を、A の位置にスライドさせます。

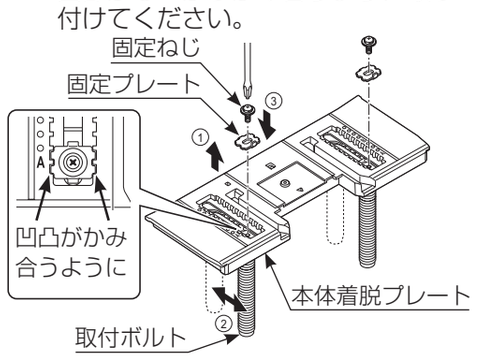
※取付ボルトは本体着脱プレート側に押し付けるようにして移動させます。

※ 本体着脱プレートのロックを外さないように注意してください。ロックが外れると、上面プレートが勢いよく外れる恐れがあります。



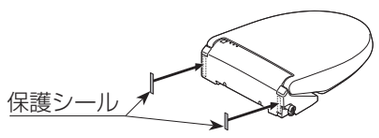
③①で取り外した固定プレート（2 個）と固定ねじ（2 本）を取り付け、取付ボルト（2 本）を固定します。
(締付トルク 2.0N·m 以上)

※ 固定プレートの凸部とプレート側の凹部がしっかりかみ合うように取り付けてください。



■ 保護シールの貼付け（収納一体型の場合のみ）

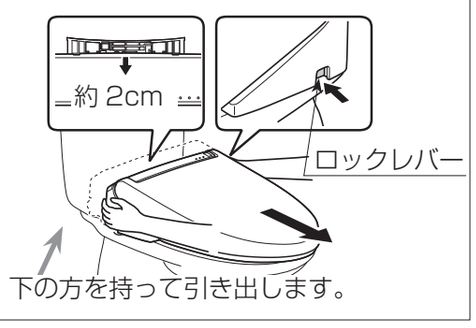
本体の背面に保護シールを貼り付けます。保護シールのはく離紙をはがし、図の位置に貼り付けてください。



■ 本体の外し方

① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、**約 2cm** スライドさせます。

② **ロックレバーから指を離して**、さらにスライドさせます。



【注意 4-1】
- **取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。**

【注意 4-2】
- **電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。**

【注意 4-3】
- **本体給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。**
  ※破損して漏水する恐れがあります。

【注意 4-4】
- **クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。**
  ※漏水の原因になります。

【参考 4-1】
- **ノズル出口が、便器のリム部に乗り上げないように取り付けてください。**

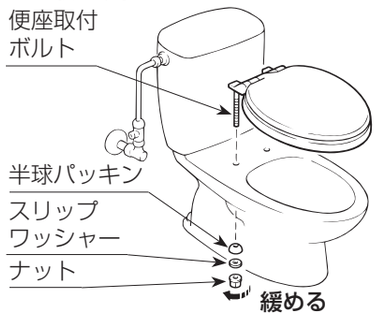
【参考 4-2】
- **便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。**
- **取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。**

補足 4 既存の便座の取外し

【参考 4-2 参照】

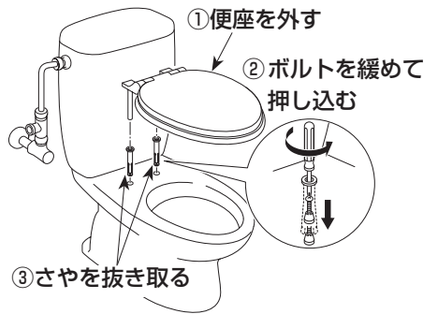
■ボルト式の場合

1. **便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。**
2. **便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。**



■さや式の場合

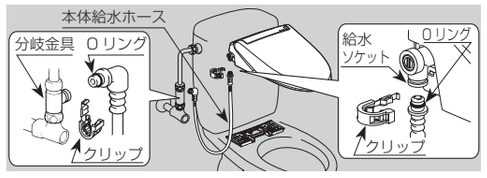
1. **既存の便座を持ち上げて外す。**
2. **さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。**
3. **さや 2 本を便器から抜き取る。**



4 シャワートイレ本体の取付け

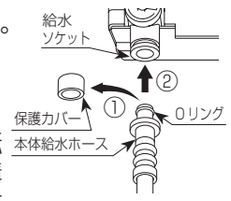
【注意 4-1 参照】【注意 4-2 参照】【参考 4-1 参照】

1. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。

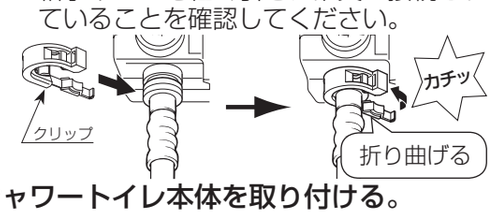


① 保護カバーを外します。

② 本体給水ホースを差し込みます。
【注意 4-3 参照】
※ 給水ソケットが回転しますが、これは構造上によるもので故障ではありません。



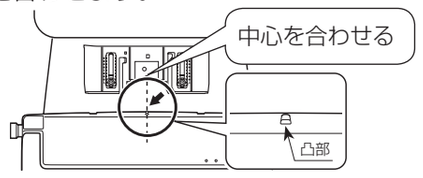
③ クリップで固定します。
【注意 2-2 参照】【注意 2-3 参照】
【注意 4-4 参照】【参考 2-1 参照】
※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. シャワートイレ本体を取り付ける。

① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。

② 本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。

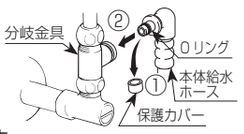


③ 本体を、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。
※ 本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。
※ 本体着脱の構造上、ガダツキは完全にはなくなりません。
※ 本体がロータンクに当たり取り付けられない場合は、本体着脱プレートの位置を調整してください。

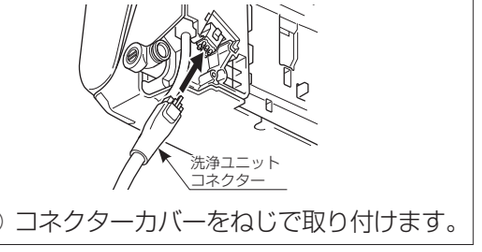
3. 本体給水ホースを分岐金具側に取り付ける。

① 保護カバーを外します。

② 本体給水ホースを差し込みます。
【注意 4-3 参照】



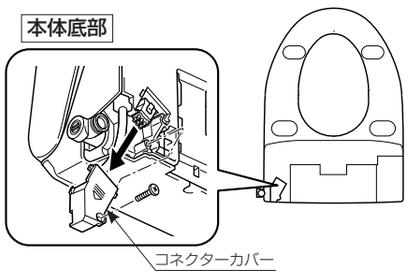
③ クリップで固定します。
【注意 2-2 参照】【注意 2-3 参照】
【注意 4-4 参照】【参考 2-1 参照】
※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



■ 収納一体型・QV タイプの場合

収納一体型・QV タイプの場合は、図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。

① ねじを外しコネクターカバーを外します。



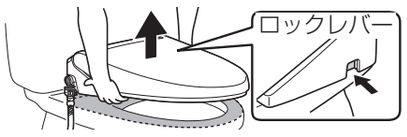
② カバー内のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。

③ コネクターカバーをねじで取り付けます。

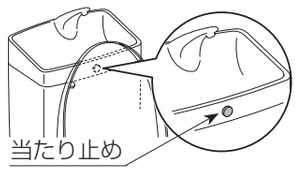
【注意 3-1】
- **ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。**
  ※締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

5 当たり止めの貼付け

1. **便フタ・便座を閉じる。**
2. **ロックレバーを押しながら、本体を静かに持ち上げる。**



3. **便フタを開き、便フタがロータンクに当たるところに当たり止めを貼る。**
   ※貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。



4. **本体を下記の手順で真下に降ろす。【注意 5-1 参照】**

① 本体右後部を上から押します。

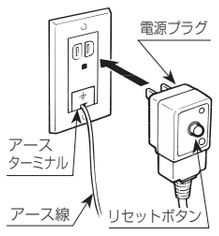
② 本体左後部を上から押します。

③ 本体中央後部を上から押します。

【注意 5-1】
- **便座・便フタを上から押さないようにする。**
  ※シャワートイレ本体、陶器部の破損や転倒によるケガの原因になります。
- **本体を降ろすときに、指を挟まないようにする。**
  ※ケガをする恐れがあります。
- **斜めに本体を降ろすとロックがかからない場合がある。**

6 電源の接続

1. **電源プラグをコンセントに差し込む。【注意 6-1 参照】**
   ①アース線を接続します。
   ②電源プラグを差し込みます。



2. **電源が入っていることを確認する。**
   本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電·火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 6-1】
- **電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。**
  ※電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。
- **リセットボタンを押しても電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電していないかを確認する。**

7 リモコンの位置決め・取付け

同梱されている施工説明書に従って、リモコンを取り付けます。

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。したがって、できる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは

シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。
代表的な快適機能には、
●便座・温水の温度　●脱臭機能　●節電機能
●温風始動温度切替え　●便座ヒーターオート OFF
などがあります。

※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻してください。（洗浄位置【前】と【節電入／切】を同じタイミングで 2 秒以上押す）
※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

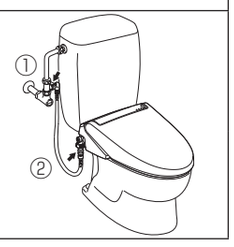
施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

8 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。

	チェック欄	確認内容	
漏水確認		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 （給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。）	
	□	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	□	② 本体と給水ホースとの接続部	

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 8-1 参照】【注意 8-2 参照】【注意 8-3 参照】

1. 電源が入っていることを確認する。
2. 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。
※ 初回通水時は水回路内部の空気を抜きます。
着座センサーを覆うと約 30 秒間、ノズル付近から水が出ます。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしり ノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり
	□	2.【止】を押すと温水が止まりますか？	
ビデ ノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	ビデ
	□	2.【止】を押すと、温水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、便座が温まるかを確認する。

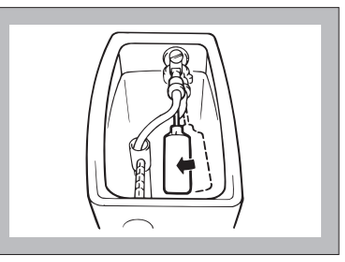
確認機能	チェック欄	確認内容	
暖房便座	□	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	便座

4. 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

【注意 8-1】
● インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 8-2】
● 着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

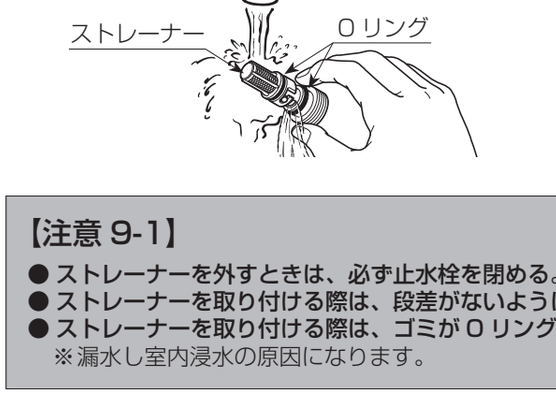
【注意 8-3】
● タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

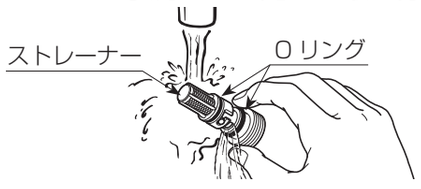
2. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。
【注意 9-1 参照】
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



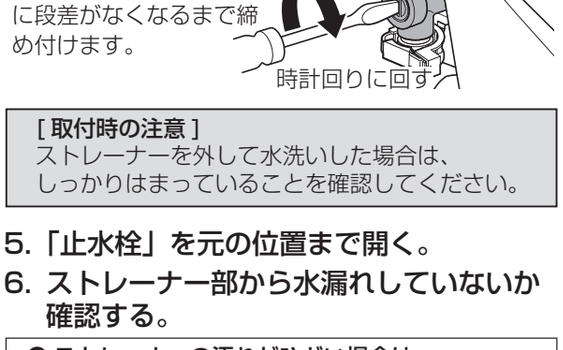
※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

［注意］
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3.「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。



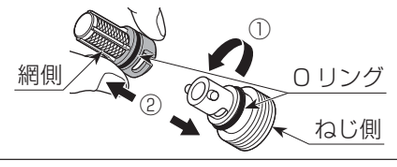
4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。



［取付時の注意］
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

5.「止水栓」を元の位置まで開く。
6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

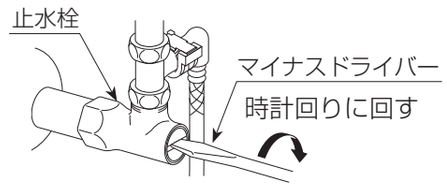
● ストレーナーの汚れがひどい場合は
ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



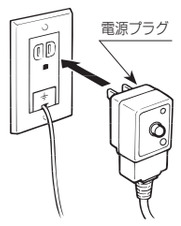
【注意 9-1】
● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

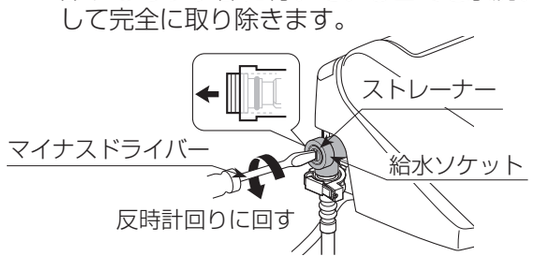
1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
※ 寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。



2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。（便器洗浄）
3.【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ 本体内の残水が便鉢に排出されます。
4. 電源プラグをコンセントから抜く。



5. シャワートイレ本体から水を抜く
【注意 9-1 参照】
① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除きます。



③ シャワートイレ本体を便器から取り外す（「④シャワートイレ本体の取付け 2」の逆の手順）
④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体内の水を抜く

⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。

⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付けます。
6. 給水ホースから水を抜く。
① 止水栓側から給水ホースを外し、給水ホース内の水を抜きます。
②「④シャワートイレ本体の取付け」の手順に従って、本体給水ホースを取り付けます。